

ジャパネット杯 春の高校バレー 第 77 回全日本高等学校選手権大会 長野県ファイナルラウンド

男子は松本国際高校が今年の雪辱を果たし、女子は東京都市大塩尻が7連覇達成

【大会副委員長 竹内 護】

昨年度からスポーツブルにて準々決勝から全ての対戦がライブ配信されるようになった今大会ですが、お陰様で今年も9日(土)・10日(日)に長野市ホワイトリングにて無事開催することができました。取材の報道陣も10社以上となり、バレーボールに対する注目の高さがうかがわれました。

春高バレーへの出場権をかけた今大会は、初日から熱戦が繰り広げられて大いに盛り上がりました。男子はシード校が順当に勝ち上がりましたが、女子は激戦の末に松本国際高校がシード校を破り、2年連続3位入賞を果たしました。

大会2日目の10時よりスタートした男子決勝では、過去4年間で交互に代表権を獲得している両雄、松本国際高校と岡谷工業高校が激突。実力が伯仲している2校の対決は、大変見応えのある内容でフルセットに纏れ込みましたが、松本国際が第5セットを15-12で奪取。2時間近い激戦を制して今年の雪辱を果たし、インターハイ予選に続いて本大会の出場権を得ました。試合終了後、両者で健闘を讃え合う姿が印象的な一戦となりました。

女子決勝も、昨年に引き続き東京都市大塩尻高校と松商学園高校の対戦となりました。都市大塩尻がネット幅を有効に生かした伝統の高速バレーを展開すれば、松商学園も堅い守りからブロックアウトやフェイ



ントを効果的に使って反撃。こちらもフルセットの激戦となりました。最終的には高さで上回る都市大塩尻が勝利を収めました。共に持てる力の全てを発揮し合った好ゲームでした。

代表となった両チームの選手権大会(春の高校バレー)での大活躍を期待します。

以下に男女代表チーム代表者のコメントを掲載します。



「春高バレー全国大会に向けて」 松本国際高校監督 壬生裕之

決勝戦の相手である岡谷工業高校のキャプテンのスパイクがアウトになった瞬間、セットカウント3-2で本校の春高全国大会出場が決まりました。

勝てた喜びもありましたが、ネットを隔てて意味合いは違えど、両校ともに本気の涙を流している高校生の姿を見て、とても素晴らしいものだと感動させていただきました。

長野県のバレーに携わる多くの関係者の方々や長野県のバレーに関わる全ての高校生・ライバル校、これらの素晴らしい関係・環境に置かれることで成長でき、長野県の代表校として全国大会に臨めます。

当然、日本一を目指して勝つことにこだわり挑みたいと思っていますが、それと同時に、長野県のバレーを取り巻く環境やレベルの高さが素晴らしいものであるという証明をしてきたいと思っています。多くの方々に支えられて全国大会に臨めることに感謝し、その感謝の気持ちを結果として表すことができ

るように頑張ってきます。最後に長野県のバレーボールに携わる全ての方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。



「第77回全日本高等学校選手権大会に向けて」

東京都市大学塩尻高校主将 北堀未森

私たちの目標は「日本一」です。その目標を達成するためにファイナルラウンドでは、自分たちの戦うレベルを意識して圧勝することを目標にプレーしまし



た。また、これまで強化してきた「サイドアウトを一回で取ること」や「人との繋がり」にこだわりチーム全員での一体感をもって戦いました。決勝戦では、自分たちの勢いが出せずに苦しい状況が続きましたが、最後まで仲間を信じて戦って勝利を掴むことができました。保護者やOGの方々、学校関係者の皆様などの多くの応援に背中を押され、全員で勝ち取った勝利だと思います。

春高の舞台での「日本一」のチャンスを手に入れることができましたが、課題も多く残りました。今大会で確認した課題を修正し、自分たちの武器を磨いて安定感のあるプレーができるよう、チームとして更にレベルアップしていきたいと思っています。春高では、インターハイや国民スポーツ大会での悔しさ、最後にかかる想いをぶつけ、全力で戦って「日本一」を取ります。支えて下さる多くの方々への感謝を忘れず、仲間を信じて、長野県の代表として堂々とプレーしていきたいと思っています。

令和6年度 第94回全日本人制総合男子選手権大会

伝統の9人制総合男子全国大会24年ぶりに長野県で開催

昭和2年に始まった9人制最高峰の大会は第94回を数え、長野県では平成12年に大町市・池田町・白馬村で開催して以来、24年ぶりの開催となりました。今回は、安曇野市・大町市・池田町・松本市を会場に、11月14日(木)から17日(日)までの4日間で開催しました。

参加チームは、北は新潟・栃木・茨城から南は沖縄まで、実業団・クラブ・学生の男子52チームです。

【県協会常務理事 田原 茂】

残念ながら、北海道からの参加はありませんでした。14日には開会式と代表者会議、15日は4チームの予選グループ戦、16日・17日は決勝トーナメント戦を行いました。

ベスト4に勝ち残ったチームは、大会を2連覇している第1シードの中部徳洲会病院(沖縄県)、住友電工

↓ 開会式



↓ 準々決勝



(第2シード)を破った横河電機(東京都)、第3シードのJFE西日本(広島県)、第4シードの住友電工伊丹(兵庫県)でした。決勝戦は、中部徳洲会病院とJFE西日本の対戦となりました。豪快なジャンプサーブや強打と軟攻を織り交ぜた多彩なスパイク、スーパーレシーブ、ネットプレーからの攻撃など、9人制の醍醐味が伝わる、手に汗握る白熱した接戦となりました。結果は、第1セットの接戦を制したJFE西日本が3連覇を目指す中部徳洲会病院を破り、本大会で初優勝を飾りました。

長野県からは、松本市役所と大町クラブが出場しました。松本市役所は決勝トーナメント2回戦で住友電工伊丹と、大町クラブは1回戦で横河電機と対戦し、それぞれベスト4の強豪チームを相手に健闘しましたが、涙を呑む結果となりました。因みに大町クラブは、平成12年の前回は初戦で横河電機と対戦しており、歴史が繰り返されたとのこと。

参加した全てのチームは、予選グループ戦から決勝トーナメント戦まで、持てる力を思う存分に発揮され、それぞれが充実した大会になったものと思います。

本大会の運営に当たっては、県協会と中信4地区協

会による実行委員会を設置し、令和5年12月の第1回会議から約1年間、計7回にわたる打合せ会議を行って、周到かつ綿密に準備を進めてきました。今回の大会では、長野県ママさん連盟(小澤会長・内堀理事長・中信4支部ママさん連盟)の皆様、審判記録員として大会運営にご協力を頂きました。記録用紙の様式が異なるため、事前に講義・研修を受けながら、実際に県予選会などで記録実技を行って、円滑な競技運営にご尽力を頂きました。誠に有り難うございました。

大会を通して感じたのは、9人制全国大会トップレベルのプレーを、県内の小学生や中学生、高校生、大学生など、大勢の子どもたち、若者たちに観て頂く機会があれば、9人制の面白さや魅力を感じて、競技人口の拡大につながったのではないかとことです。今回そのことを見落としてしまったことが心残りです。

最後に、今大会の開催に当たっては、大会への協賛や運営協力を頂いた企業・事業所を始め、長野県ママさん連盟や中信4地区協会の皆様、多大なご理解・ご協力を頂きましたこと、感謝を申し上げます。

↑ 決勝戦



↑ 表彰



佐藤錬二名誉副会長 文部科学大臣表彰「生涯スポーツ功労者」受賞！

【県協会専務理事 村上里志】

この度、佐藤錬二名誉副会長が文部大臣表彰「生涯スポーツ功労者」を受賞されました。授賞式は10月18日、東京都の文部科学省中央合同庁舎において厳粛に執り行われました。誠にありがとうございます。

佐藤名誉会長は平成元年（財）長野県バレーボール協会の評議員に就任し、その後運営理事、理事、常務理事、副会長を歴任、協会の組織力向上と発展にご尽力されました。

この間、長年に亘り競技委員会委員として県内大会の他、Vリーグ、国際大会等のBIG大会における競技運営に携わり、多くの競技委員の養成と競技運営向上に多大な功績を残されました。また、平成11年から19年まで県高体連バレーボール専門委員長に就任、その間北信越高体連専門部長、全国高体連専門部常任理事を歴任するなど、高校バレー界の発展にもご貢献されました。

令和3年度からは名誉副会長として本会を見守っていただくと共に、今なお地元の安曇野・東筑バレーボール協会において、2028年長野国スポに向けて人材育成と組織強化にご尽力をいただいています。

尚、本会からの文部科学大臣表彰受賞者は、故原敏氏、故矢島秀次氏、故北村喜男氏に続く4人目となります。



マルニシCUP 第42回長野県小学生バレーボール大会

女子は豊科JVCが優勝、男子の松本ヴィガ 混合の大豆島JVCは初優勝

【県小連理事長 西澤 悦郎】

下諏訪町体育館をメイン会場として10月27日(日)、各地区を勝ち抜いた男子8チーム、女子16チーム、混合4チームにより、標記大会県大会を開催しました。

男子「松本ヴィガフェニックス」、混合「大豆島JV

C」が初優勝、女子「豊科JVC」が2回目の優勝に輝きました。

以下各優勝チームのコメントです。

「マルニシ CUP 第42回長野県小学生バレーボール大会県大会を終えて」

≪松本ヴィガフェニックス監督 野原啓司≫

初めての決勝進出、そして勝利をつかむことができました。

準決勝と決勝はフルセットの苦しい戦い、決勝戦は何れのセットも2点差のしびれる展開でした。会場の雰囲気からくる緊張や夏の勝者としてのプレッシャーを受ける中、子供たちが諦めずにボールを繋ぎ、最後の1点をもぎ取るまで集中して勝ち切ることができました。

3月の新人戦準優勝から始まり、これまで多くの、そして貴重な体験をさせていただきました。これもヴィガフェニックスに関わっていただきましたチームの皆さん、そして会場に詰めかけてくれた保護者の皆さんとご家族のおかげです。本当にありがとうございます。

最後になりましたが、本大会の開催にあたりご協賛いただきました株式会社マルニシ様、運営等でご尽力



いただきました関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

「マルニシ CUP 第 42 回長野県小学生バレーボール大会県大会を終えて」

10月27日に開催された6年生最後となるマルニシ大会にて2年ぶり2度目の優勝。有終の美を飾ることが出来ました。

今年のチームは、前年度3月の米カップ県大会（新人戦）で優勝。6月の全日本県大会では、決勝戦で3セット目2点差の僅差で惜しくも敗退し、全国大会出場は逃しましたが、北信越大会（新潟県開催）で優勝。9月の全国スポーツ少年団交流大会県大会でも優勝。



《豊科JVC 丸山文生》

このマルニシ大会での優勝を目指してチーム一丸と成ってブロック・地区大会・県大会と向かえました。

毎年この時期になるとどのチームも力をつけて来て、ハイレベルな戦いになります。現に2回戦・準決勝ではなかなか点差を離せない接戦となり、特に準決勝の2セット目にはちょっとしたミスからデュースに……。そこを何とか乗り切って勝利し、決勝戦では勢いそのままに、メンバーの入れ替えや攻撃パターンを少し早くしたことも奏功し、ストレート勝利で優勝！ 目標でもあった夢の県大会4冠は果たせなかったものの、2年前に並ぶ3冠を達成できたことに喜んでおります。

本来であれば6年生はこのチームを離れるのですが、12月末に愛媛県で開催されるスポ少の全国大会に出場するため、もう暫く一緒にプレーすることになります。大会では2年前のブロック3位以上の成績を目指して頑張りたいと思います。皆様の一層の応援をお願い致します。

最後になりますが、この大会の準備から当日の運営まで、ご協賛を頂いている株式会社マルニシ様、長野県小連の役員や開催地である諏訪湖支部の役員の皆様など、たくさんの方々のご協力があったの今日の結果だと思っています。本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願い致します。

「マルニシCUPを振り返って」

10月27日に行われました、マルニシcup長野県小学生バレーボール長野県大会 混合の部では優勝という形で大会を終えることが出来ました。6年生4名にとっては最後の大きな大会となりました。総部員18名で挑み、優勝という形で終えたこと嬉しく思います。

この時期は学校行事等で、練習場所の確保など思うように練習できない中、持ち前の「繋ぐバレー」で結果を残せました。初戦では、サブカットで崩される場面もありましたが、長身エースの攻撃で1点1点を積み重ね、勝利となりました。決勝戦は、上田六文銭さんと対戦しました。以前に比べサーブ・スパイク共に力強く、レベルが上がっていましたが、大豆島JVAも喰らいついてフルセット。練習でもレシーブ強化に務めてきたことにより、相手のスパイクも読み込み、エースに繋ぐことができて最高の姿でした。

今年は全国大会出場も果たし、子供たちにとってはとても大きな力になったかと思います。最後になりますが、この大会の準備や当日の運営、ご協賛をいただいているマルニシ株式会社様、役員の皆様、そして日頃からお世話になっている皆様のご協力があったこそこの結果だと思っています。心より感謝申し上げます。

《大豆島JVC監督 大塚 保》



VC長野トライデンツ ホームゲームで初勝利！

ホームゲーム初勝利を目指すVC長野トライデンツは、広島サンダースを迎えて11月9日(土)・10日(日)、安曇野市ANCアリーナにおいて2連戦を行いました。

9日の第1セットは終始競り合う中、VC長野が25-22で先取して流れをつかんだかに見えました。しかし、第2セットは17-25、第3セットも17-25と落とし、後が無くなり迎えた4セット目は、スターティングメンバーを3人入れ替えて臨み、フェイントを交えた攻撃でリズムをつかんで25-18で取り返し、勝負をファイナルセットに持ち込みました。第5セットは一進一退の攻防になりましたが、VC長野がリードを保つての展開で、粘る広島サンダースを振り切って15-13で奪取。セットカウント3-2で嬉しいホームゲーム初勝利を挙げました。会場全体も大いに盛り上がりました。

10日の2戦目は、連勝を狙うVC長野に対して、連敗を避けたい広島サンダースに序盤から主導権を握られ、第1セット17-25、第2セット21-25、第3セット13-25のセットカウント0-3のストレート負け。残念ながらホーム2連勝とはなりませんでした。

【安曇野・東筑協会理事長 森 哲夫】

しかし、新リーグは始まったばかり。これまでのところ、昨年のリーグを上回る戦いぶりを見せてきています。今後のVC長野トライデンツに期待したいと思います。



2024-25V.LEAGUE MEN EAST

長野 GaRons ホームゲーム2連勝！

須坂市市民体育館において11月9日(土)・10日(日)、昨年度までV2リーグに属していたつくばユニテッド Sun GAIA(以下「サンガイア」)を迎えて、長野 GaRons(以下「長野GR」)のホームゲームが開催されました。サンガイアは、ここまで開幕2連勝。長野GRを破ってさらに連勝を伸ばしたいところ。一方の長野GRにとっては、今シーズンどこまで通用するのかを占う上で重要な対戦。どちらも負けられない注目のカードでした。

この2日間は力が拮抗しており、どのセットもどちらに転ぶかわからないタフなゲームとなりました。

【須高協会理事長 黒岩龍也】

1日目、長野GRは強いサーブと速い攻撃で得点を重ね、第1セットを25-17で先取するも、第2セットはサンガイアの高いブロックに阻まれて23-25で失いました。その後も両者の持ち味が存分に発揮されて手に汗握る展開が続きましたが、多彩な攻撃からの絞らせなかった長野GRが第3セットを25-22、第4セットも25-23と僅差で取って3-1で見事に初勝利を収めました。

2日目、前日の勢いそのまま、第1・2セットは長野GRがセンターからの速攻を中心に点数を重ねました。サンガイアの強いサーブで先行を許しても、終盤に追いついて逆転。両セットとも逃げ切って奪取しました。しかし、少しずつサンガイアのブロックが機能し始め、第3・4セットを僅差で落としてフルセットに連れ込みました。注目の第5セットはサンガイア先行でゲームが進み、マッチポイントを先に許す苦しい展開。そこから長野GRが粘ってデュースに持ち込むと、その後は両チームが必死で1点を取りに行く熱戦となりましたが、最後は相手の攻撃を見事にブロックして23-21で逃げ切り、長野GRが3-2でホーム2連勝を果たしました。

次節からはアウェーゲームが2週続けて行われます。いよいよ長野GRの真価が問われます。



フリー・スポレク 50・ゴールドの3種別で覇を競う

【ソフト連盟理事長 篠原初男】

11月4日(月)、佐久市の佐久市総合体育館において標記大会が開催されました

今大会、当初はブロンズの部・ゴールドの部・フリーの部・スポレクの部・プラチナの部の5種目で開催する予定でしたが、ブロンズ・プラチナへの参加が各1チームだったため、ゴールド・スポレク50の部に変更して頂き、3種別で戦って頂きました。結果、フリーの部には4チーム、スポレク50の部には5チーム、ゴールドの部には6チーム、合わせて15チームのエントリーとなりました。

フリーの部は4チーム総当たり戦を行いました。1位：翔舞(小諸市)、2位：笑顔(大町市)、3位：ちやおちゅーる(須坂市)という結果でした。

スポレクの部も5チーム総当たり戦を行いました。1位：ルパン(都留市・山梨県)、2位：まめ虎(長野市)、3位：オット(佐久市)という結果でした。

ゴールドの部は6チームでしたが、こちらも総当たり戦を行いました。1位：南風(大町市)、2位：ゼロくらうど(長野市)、3位：スパークルズ(長野市)という結果でした。



↑フリーの部 優勝 翔舞



↑スポレクの部 優勝 ルパン



↑ゴールドの部 優勝 南風

JOCジュニアオリンピックカップ第38回全国都道府県対抗中学大会 北信越強化練習会

北信越強化練習会(通称"5県対抗")が新潟県で開催

12月下旬の大阪での本大会に向けて、北信越5県のJOC中学選抜チームが集まった練習会が11月9日(土)・10日(日)の2日間、新潟県刈羽村(男子：刈羽中学校・女子：刈羽村生涯学習センター「ラピカ」)で開催されました。開催地は村ではありますが、村内に原子力発電所が立地していることもあって非常に裕福な自治体で、例えば中学校のグラウンドは全天候

【県中学選抜チーム団長 牛田佳伸】

型のトラックに天然芝が整備されており、体育館施設もバレーコートが悠悠2面取れるといった恵まれた中でゲームが出来ました。

この練習会は、各県選抜チームにとっては、本大会に向けての新たな課題を確認する場となります。この練習会を終えての男女監督コメントは下記の通りです。



《「北信越地区5県対抗練習会を終えて」 長野県中学男子選抜チーム監督 田貝エミ 》

9月の結団式から約2カ月半。保護者の皆様の御理解と御協力により、ここまで活動が出来ていることに先ず以て心より感謝申し上げます。

今年も県内の高校生、指導者の皆様のお力をお借りしチームの育成と強化を図り、チームも徐々に力を付けてきました。また、今年是他県の練習会へ多く参加させて頂き、多くのチームからも学ばせて頂いております。

今回の北信越強化練習会では、大幅にポジションを変え、新たな挑戦を試みました。チームで出た課題に対して、選手たちは真摯に受け止め、考え、共

有し合い、自分たちで立て直す場面も多く見られたことは大きな収穫となりました。さらに全国で勝負するには、1本目となるレセプション、サーブ、ブロック、パスのファーストプレーの質を上げなければならないことも痛感しております。本大会まで残り1ヶ月、ファーストプレーにこだわり、攻撃に幅を持たせられるようチームの底上げを図りたいと思います。『「壁はワクワクした瞬間「扉」になる』まだまだ成長する選手たちと本大会に向けて「一意専心」で頑張ります。

《「北信越地区5県対抗練習会を終えて」 長野県中学女子選抜チーム監督 中村幸博 》

選抜チームを結成して約2ヶ月が経ちました。今年度は「自分で考え、自分で決定し、自分で行動する」をモットーに、平日練習は全体練習を週1回にし、選手たち自身に責任をもたせて練習環境や練習メニューなどを決めるよう指導しています。休日の練習は、他県の中学選抜チームとの練習試合を多く設定（11.10現在、セット数は162セット）し、またチーム内でもお互いがライバルとして切磋琢磨してきました。

そんな中で迎えた北信越強化練習会では7勝1敗という結果でした。まだまだ課題は多い訳ですが、これまでの成果は発揮された練習会になったと思います、また、漠然としていた「日本一」という夢

が、現実的に追いかけていける「目標」に変わってきたと感じています。

今後は長野県内の高校生との練習試合が中心になりますが、チームとしてのスキルを上げることはもちろん、選手12人全員の個々の良さを試合の中で最大限発揮できるチームになるように、スタッフが丸となって全力でサポートしていきます。

本大会まで約1ヶ月、これからも自分やチームがどれだけ成長できるのか、ワクワクしながら、バレーボールに取り組んでほしいと思っています。そして「一意専心～あきらめない～」の精神を胸に、2015年以来9年ぶりの「日本一」を掴みます。

11月23日（土）、12月25日（水）から大阪で行われる本大会の組み合わせが決定しました。26日（木）は、全国47都道府県（開催地の大阪は南北に分かれての2チーム）から集まった48チームを3チームずつの16グループに分けてリーグ戦を行い、上位2チームが決勝トーナメントに進出します。男子は第2組で、岐阜県・群馬県と対戦します。女子は

第8組で、大阪南・宮城県と同一グループになりました。過去、男女合わせて優勝6回、3位以上13回を誇る長野県ですが、女子が2015年、石川真佑を擁して優勝して以来、最終日の準決勝以上（3位以内）に進出出来ていません。男女両チームの奮闘を期待したいと思います。

長野県選抜チーム名簿

【スタッフ】		
役 職	氏 名	所 属 校
団 長	牛田 佳伸	松本市立高綱中
男子監督	田貝 エミ	稲荷山養護学校
男子コーチ	赤羽 徹郎	松本市立筑摩野中
男子マネージャー	北澤 潤一	千曲市立屋代中
男子アシスタントコーチ	青木 竜也	下諏訪町立下諏訪中
女子監督	中村 幸博	長野市立広徳中
女子コーチ	望月 省吾	麻績村立筑北中
女子マネージャー	飯島 柚里香	松本市立菅野中
女子アシスタントコーチ	齋藤 里奈	松本市立松島中

【男子選手】					【女子選手】				
No	氏名	学校	学年	身長	No	氏名	学校	学年	身長
①	小田切 絃貴	小布施町立小布施中	3	170	①	黒岩 詩月	松本国際中	3	175
2	木村 崇秀	南箕輪村立南箕輪中	3	191	2	北村 優美南	長野市立更北中	3	171
3	伊藤 春希	茅野市立長峰中	3	184	3	谷口 ひなた	中川村立中川中	3	171
4	玉野井 隼平	長野市立櫻ヶ岡中	3	183	4	宮川 心花	須坂市立相森中	2	171
5	降籬 結希	松本市立松島中	3	183	5	高橋 美心	上田市立第五中	2	170
6	松田 晴夏	南木曾町立南木曾中	3	183	6	穂坂 はるか	松本国際中	2	170
7	下田 寛翔	松本市立松島中	3	182	7	坂口 紫月	長野市立更北中	3	168
8	窪田 拓実	長野市立川中島中	3	178	8	古平 夢結	長野市立北部中	3	167
9	西村 陸翔	長野市立三陽中	3	178	9	小池 奈都	富士見町立富士見中	3	162
10	石井 大宙	上田市立第四中	3	176	10	玉井 美結	長野市立広徳中	3	160
11	春日 晴	飯島町立飯島中	3	175	11	横澤 陽菜	安曇野市立穂高西中	3	160
12	田中 然之介	松本市立梓川中	3	161	12	中村 明菜	長野市立広徳中	3	153

あすなろU-8、U-10 長野県小学生バレーボール交流大会を開催

【県小連理事長 西澤 悦郎】

バレーボールへの関心・意欲を高めて競技者拡大を図ると共に、小学生バレーボールの普及と発展を目的に、未経験児童を含む低学年に大会を通してバ

レーボールの素晴らしさや楽しさに触れる機会として、特別ルールを設けて低学年主体のバレーボール大会を開催しました。

「あすなろU-10 長野県小学生バレーボール交流大会」

U-10は11月16日（土）・17日（日）、安曇野市・松本市の7会場で2日間延べ99チームの参加で開催しました。

初めて大会に参加する児童もおり、2年生以下ではアタックラインからサーブを打つことができる特

別ルール等により、最初はサーブが入らなかった選手も2日目にはサーブが入るようになって、我が子の成長を暖かな目で応援する保護者の姿も見られました。



↑ U-8



↑ U-10

「あすなるU-8長野県小学生バレーボール交流大会」

U-8は安曇野市で11月17日（日）、9チームの参加で初めて開催しました。

この大会も特別ルールを設けました。ネットの高さは180センチメートルで柔らかなボールを使用し、更にはアタックラインからサーブを打つことが

できるだけでなく、セカンドサーブも打てるようにしました。

選手の表情が楽しそうで生き生きとしており、たくさんの方の保護者の応援で盛り上がりました。

バレーボールの普及、競技者拡大のため今後も大会を開催したいと思います。

2024-25 V.LEAGUE WOMEN

Vリーグ女子軽井沢大会を開催

11月23日（土）・24日（日）、紅葉シーズンが終盤を迎えた軽井沢町の風越公園総合体育館にて、東京サンビームズ(旧GSS東京)のホームゲームが開催されました。東京サンビームズは、今年度より運営母体がTGCゼネラルサービス株式会社（戸田建設の完全子会社）となり、チーム名を変更。新たなスタートを切っております。

東京サンビームズはここまで勝ち星がなく、ホームゲームで今季初勝利を目指して臨んだ大会でした。23日、アルテミス北海道との対戦。第1セット、2シーズンぶりに復帰した張と新加入ユリアナ(インドネシア)の高いセンターが効果的に機能し、東京サンビームズが25-13と先取しました。その後も、高い攻撃力と安定した守備でアルテミス北海道を圧倒。セットカウント3-0で東京サンビームズは今シーズン初勝利を飾りました。24日も同じ対戦カードでした。試合は前日の流れそのままに、東京サンビームズが高いセンターラインと巧みな攻撃や安定した守備で粘るアルテミス北海道を突き放し、再びセットカウント3-0で快勝。ホームゲームを連勝で終えました。

24日は、アルテミス北海道の事情で11時試合開始とタイトなスケジュールでしたが、早朝から滞りなく

【佐久平協会理事長 宮澤智昭】

準備し、無事大会を終了することができました。また、応援席には東京サンビームズと交流のある佐久地方の小学生が訪れ、連日に亘って元気な声援を送り会場を盛り上げました。

最後になりましたが、ご協力いただきました県協会の皆様、軽井沢町スポーツ協会の皆様に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。



令和6年度 収支会計 中間監査を実施



【県総務委員長 赤間善浩】

11月20日（水）、鈴木正弘監事、脇坂清志監事による中間監査が実施され、上半期分の帳簿など関係書類の確認が行われました。会計事務について、適切に処理されていることが確認されました。

11月試合結果

☆ 第23回全国社会人東ブロック男女優勝大会

https://www.jva.or.jp/domestic/2024/9shakai_east/

☆ 2024-25 大同生命 SV.LEAGUE MEN (11/2~3 VC長野)

<https://www.svleague.jp/ja/form/a/32135>

<https://www.svleague.jp/ja/form/a/32136>

☆ 第45回長野県ママさんバレーボール連盟 長野大会

https://www.nagano-mamavolley.com/wp-content/uploads/2024/11/20241111_kekka.pdf

☆ 長野県ソフトバレーボール秋季オープン大会

<http://naganosvf.html.xdomain.jp/kekka.html>

☆ 第32回全国ソフトバレー・シルバーフエスティバル

https://www.jva.or.jp/wp-content/uploads/2024/05/result_softsilver_2024.pdf

☆ 第77回全日本高等学校選手権大会 長野県ファイナルラウンド

https://nagano-va.or.jp/R6.11.10_haruko_FR_keka.pdf

☆ 2024-25 大同生命 SV.LEAGUE MEN (11/9~10 VC長野)

<https://www.svleague.jp/ja/form/a/32149>

<https://www.svleague.jp/ja/form/a/32150>

☆ 2024-25 V.LEAGUE MEN (11/9~10 ガロonz)

<https://www.svleague.jp/ja/form/a/32491>

<https://www.svleague.jp/ja/form/a/32492>

☆ 第94回全日本9人制総合男子選手権大会

https://www.jva.or.jp/wp-content/uploads/2024/05/kt_result_9alljapan_men2024.pdf

☆ 2024-25 V.LEAGUE WOMEN (11/16~17 信州ブリリアントアリーズ)

<https://www.svleague.jp/ja/form/a/32343>

<https://www.svleague.jp/ja/form/a/32344>

☆ 2024-25 V.LEAGUE WOMEN (11/23~24 東京サンビームズ)

<https://www.svleague.jp/ja/form/a/32353>

<https://www.svleague.jp/ja/form/a/32354>

☆ 第9回全国ソフトバレー・フリーフェスティバル

https://www.jva.or.jp/wp-content/uploads/2024/05/result1_softfree_2024.pdf

☆ 2024-25 大同生命 SV.LEAGUE MEN (11/30 VC長野)

<https://www.svleague.jp/ja/form/a/32177>

☆ 2024-25 V.LEAGUE WOMEN (11/30 信州ブリリアントアリーズ)

<https://www.svleague.jp/ja/form/a/32361>

12月 スケジュール

12/1(日)	2024-25 大同生命 SV.LEAGUE MEN (VC 長野)	(岡谷市)
12/1(日)	2024-25 V.LEAGUE WOMEN (信州ブリリアントアリーズ)	(上田市)
12/7(土)~8(日)	2024-25 V.LEAGUE MEN (ガロンス)	(須坂市)
12/7(土)~8(日) ・14(土)	令和6年度日本スポーツ協会公認コーチ1 養成講習会	(佐久市)
12/7(土)	JVA 2024 年度全国指導普及委員長・加盟連盟指導普及委員長会議	(東京都)
12/8(日)	JVA コーチカンファレンス 2024	(東京都)
12/12(木)~15(日) 12/21(土)~22(日)	天皇杯・皇后杯 全日本選手権大会 ファイナルラウンド	(東京都)
12/14(土)	県ヤングクラブ連盟 冬季リーグ 第1節	(安曇野市 他)
12/14(土)	北信越連盟 組織団体運営会議	(塩尻市)
12/15(日)	ミスノ杯第23回6人制長野県クラブ選手権大会	(伊那市)
12/17(火)	県競技力向上対策本部 強化戦略ミーティング	(WEB)
12/18(水)	県スポーツ協会 加盟競技団体ガバナンスコード適合性審査委員会	(長野市)
12/19(木)	県スポーツ協会 令和6年度競技団体理事長・競技力向上専門委員 合同会議(国体種目)	(長野市)
12/21(土)	JOC ジュニアオリンピックカップ 第38回全国都道府県対抗中学大会 長野県選手団 壮行会	(安曇野市)
12/25(水)~28(土)	JOC ジュニアオリンピックカップ 第38回全国都道府県対抗中学大会	(大阪府)
12/28(土)~29(日)	2024-25 大同生命 SV.LEAGUE MEN (VC 長野)	(千曲市)